

岡崎市内大型店販売動向調査結果〔18店舗〕（平成29年2月分）

対前年同月比5.1減。前年閏年も影響し12ヶ月連続で前年実績を下回る！

岡崎市内の主要スーパー・百貨店18店舗を対象とした「大型店販売動向調査（平成29年2月分）」の調査結果がまとまった。それによると販売総額は60億6,251万円、対前年同月比5.1%減となった。前年の閏年による土曜減も影響し、12ヶ月連続で前年同月を下回った。

部門別の結果をみると、主力の「衣料品」は、7ヶ月連続のマイナスとなり、婦人・子ども部門の春物不振が影響し6.8%減となった。一方、「食料品」は、価格高騰が続いた青果相場の安定と不漁で高値を推移した水産品の不調により、7.3%減で再びマイナスに転じた。

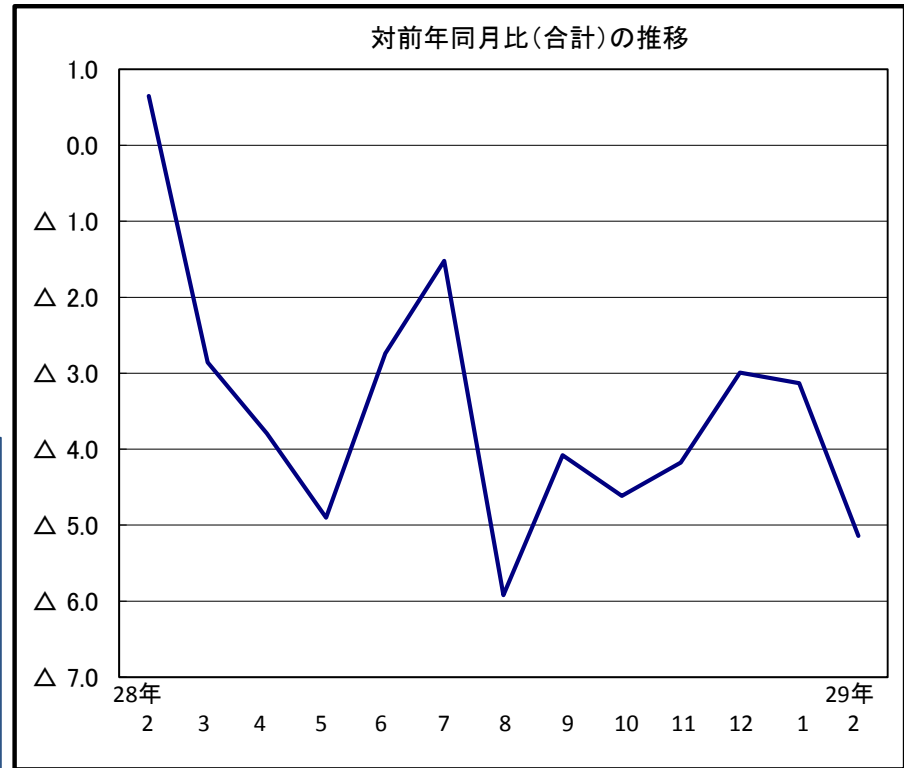
全国では、スーパーは既存店ベースで前年同月比3.3%減で3ヶ月連続のマイナスとなり、また、百貨店も1.7%減で12ヶ月連続のマイナスとなった。

【付帯調査：初フェリアムフライデー(2.24)に関するアンケート】

- [1] 企画・催事の実施 1.実施した(88.9%) 2.実施しなかった(11.1%)
 [2] 消費効果について 1.とてもあった(5.6%) 2.少しあった(22.2%) 3.全くなかった(72.2%)
 [3] 今後、関連企画・催事の実施 1.実施(継続)する予定(88.9%) 2.検討中(5.6%)
 3.実施しない予定(5.6%)

＜調査にご協力いただいた、ご担当者様の“生の声”＞

- ☆競合店増、ネット利用客増による客数減。特にネットの驚異は今後も更に大きくなること予想される。リアル店舗として物を売るだけでなく、イベント等を強化し、楽しさを売る必要あり。
- ☆新生活関連の家電製品が売上好調であったが、消耗度の高い品群においては全般的に数量・売上減の反面、園芸など屋外関連品は前年越えと需要期に向け良い兆し。春夏商材の早期展開が売上向上のキーポイント。高回転商品の売上底上げが当面の課題。
- ☆衣料品については、バーゲン期前の冷え込みにより値下げロスが減少し、単価アップに繋がった。
- ☆バレンタインはスイーツの動きが良く、スイーツ催事では記録的な売上になるなど大きな反響があった。来年はもう少し深掘りしバレンタインマーケットによる集客に繋げる。
- ☆新規競合店の影響を受け全体的に売上は苦戦した。また、営業日数も1日減ということもあり、前年の売上を越えることができなかった。特に雑貨の落込みが目立った。



	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計		
	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	
平成28年	2月	117,042	0.8	48,891	7.8	31,115	5.4	57,279	4.5	308,474	7.4	58,162	3.8	18,150	△ 60.4	639,113	0.7
	3月	158,038	△ 3.4	58,805	△ 4.7	31,371	△ 6.5	64,282	△ 2.6	298,586	2.5	65,757	△ 4.9	21,328	△ 36.4	698,167	△ 2.9
	4月	151,822	△ 2.0	56,143	△ 0.5	31,365	△ 2.7	57,839	△ 0.8	285,551	△ 1.7	61,662	△ 9.5	23,472	△ 30.6	667,854	△ 3.8
	5月	151,155	△ 6.0	54,931	△ 5.5	33,260	△ 6.2	59,327	0.4	295,106	△ 0.2	64,104	△ 7.9	25,298	△ 36.0	683,181	△ 4.9
	6月	149,039	△ 2.0	56,729	△ 0.2	34,828	11.2	52,782	△ 8.8	294,259	3.9	60,294	△ 3.9	19,558	△ 53.5	667,489	△ 2.7
	7月	163,406	0.1	66,444	2.3	39,073	1.8	63,528	5.0	291,871	0.8	65,101	△ 10.0	22,543	△ 33.7	711,966	△ 1.5
	8月	127,053	△ 8.4	56,952	△ 4.9	37,108	△ 5.4	62,857	△ 2.7	306,779	△ 1.1	67,918	△ 12.6	27,295	△ 29.6	685,962	△ 5.9
	9月	123,764	△ 11.7	48,990	△ 8.9	29,205	2.5	53,187	△ 5.0	299,719	3.9	56,143	△ 16.8	25,187	△ 12.7	636,195	△ 4.1
	10月	157,322	△ 5.1	51,892	△ 0.5	30,377	△ 3.6	57,293	△ 1.3	279,614	△ 2.8	57,893	△ 4.7	20,707	△ 33.0	655,098	△ 4.6
	11月	167,797	△ 0.8	56,150	△ 4.4	33,398	△ 15.2	61,552	△ 5.7	291,449	△ 1.0	54,948	△ 10.6	20,730	△ 24.9	686,024	△ 4.2
	12月	180,086	△ 1.5	69,234	△ 4.2	43,955	△ 1.8	79,653	0.1	319,376	△ 3.0	65,719	2.6	25,158	△ 27.7	783,181	△ 3.0
平成29年	1月	174,243	△ 6.9	66,477	△ 2.1	36,121	△ 5.2	64,218	△ 5.2	347,696	1.6	67,515	△ 3.2	29,217	△ 23.6	785,487	△ 3.1
	2月	109,076	△ 6.8	31,815	△ 3.3	31,815	2.2	49,919	△ 12.8	285,954	△ 7.3	54,644	△ 6.0	27,555	51.8	606,251	△ 5.1

【注】 1. 販売額の単位は万円。 2. 前年比の単位は%(△はマイナス)。 3. 平成26年12月以降、一部の調査対象店舗で売場構成の見直しがあり、部門別の前年比に大幅な差異があります。

4. 平成27年12月以降、調査先店舗数を変更しました。(17店舗⇒18店舗)